

都市基盤分科会最新資料 （第12回時点）

2006年10月6日

重点課題1. 50万都市の顔として品格がないJR宇都宮駅周辺

重点目標：「宇都宮市の顔としてのJR宇都宮駅周辺の景観形成」
広域からの玄関口であるJR宇都宮駅周辺の景観形成、機能強化を図る。

施策①：「西口周辺の景観の向上」

現在、安全性、景観に多くの問題がある駅前広場及びその周辺地域の抜本的再整備を行い、宇都宮市の表玄関として風格と歴史性の駅前景観を形成する。

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
西口駅前広場の再整備	市民、来訪者	・現状の駅前は、タクシー、自家用車、バスが入り乱れ、デッキも途中で歩道に降りており、危険である。安全性を確保し、快適性を向上する。	・駅前広場の全面的な再整備を行う。具体的には、駅前広場を拡張し、北口、南口を開設し、バス、タクシー、自家用車の明確な区分を行うとともに、歩行者デッキを駅前通りの歩道まで伸ばす。	市
歴史性を語る美しい西口周辺の景観形成	市民、来訪者	・宇都宮市の表玄関として風格と歴史性の駅前景観を形成する。	・駅前商業ビルの再開発を促進し、公開緑地を確保するとともに、派手な広告を規制し、風格のある駅前景観を形成する。	市・事業者

施策②：「東口周辺の景観形成」

現在整備中に市街地整備事業における東口整備において、宇都宮市の東の玄関として現代的な景観を形成するとともに、コンベンション機能の強化を図る。

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
現代的な雰囲気のある東口周辺の景観形成	市民、来訪者	・市街地整備事業において、東口は現代的な雰囲気のある景観形成を図る。	・使いやすい駅前広場を整備するとともに、現代的な雰囲気のある駅前広場、歩行者デッキとする。西口とあわせて、北口、南口を開設する。	市
国際会議場、コンベンション機能の導入	市民、来訪者	・産業都市宇都宮市の活力を高める。	・市街地整備事業において、国際会議場、コンベンション施設の導入を検討する。	市・民間

重点課題2. 適切でない公共交通サービス

重点目標：「楽しく乗れる公共交通への転換」

高齢社会に対応し、鉄道の利便性の向上、既存バスサービスの改善、新しい公共交通システムの導入の検討など、公共交通サービスの抜本的な改善を図り、利用を促進する。

施策①：「鉄道の利便性向上」

JR宇都宮線に新駅を設置し、通勤通学の利便性を向上する。

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
JR宇都宮・岡本駅間における新駅の検討	市民、来訪者	・JR宇都宮、岡本駅間に新駅を設置し、通勤通学の利便性を向上する。	・平出工業団地周辺における設置を検討する。地域企業、住民の寄付を集める、	市、JR、地域
JR宇都宮・雀宮駅間における新駅の検討	市民、来訪者	・JR宇都宮、雀宮駅間に新駅を設置し、通勤通学の利便性を向上する。	・川田町、一里周辺における設置を検討する。地域企業、住民の寄付を集める、	市、JR、地域

施策②：「新しい交通システムの整備を契機とする公共交通への転換」

既存バスサービスの改善、新しい公共システムの導入などを契機とし、マイカーから公共交通への転換を官民共同で促す。

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
中央部バス専用レーン化の検討	市民、来訪者	・バス運行の定時性の向上を図り、サービスを改善する。	・ソウル市等で実施されている中央部走行方式を検討する。その成果はLRT方式の参考にする。	市、バス事業者
LRTの導入検討	市民、来訪者	・公共交通への転換を図るため、人と環境にやさしいLRTの導入を検討する。	・現在、市と県で構想しているLRTについて、事業費、後年度の負担、事業スキーム、運行方式、運行ルートなど導入について可否も含めて引続き検討する。	市、県、民間事業者
公共交通指向型まちづくりの推進	市民、来訪者	・マイカーの利用を抑制するために、公共交通を前提とした開発の誘導を行う。	・官民が協力し、公共交通が整わない新規開発は抑制するとともに、既存住宅地におけるきめ細かいバスサービスを検討する。	市、民間事業者
バスサービス改善プロジェクト	市民、来訪者	・全市的にバスサービスの飛躍的改善を行い、バス利用者を増加させる。	・運転手の接遇の改善、ゾーン別バス料金制の検討、宮バスの効率的な活用、ルート、停留所の見直しなどを検討する。	市、民間事業者

重点課題3. 個性と魅力が十分に発揮できていないまち

重点目標：「地域のみどりや資源を活かしたまちづくりの推進」
地域のみどりや資源を活かし、魅力あふれる宇都宮市を形成する

施策①：「市民の憩いの空間としての八幡山の活用」
八幡山を四季おりおりの市民の憩いの空間として活用する

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
八幡山回遊路の整備	市民、来訪者	・八幡山公園のアクセスの向上を図る。	・周辺に公園駐車場を整備し、市内からのバスのアクセスを図る。公園内は車乗り入れ禁止とし、回遊路にのみ人にやさしい乗り物を走らせ、公園内を回遊させる。	市
集客魅力アップ大作戦	市民、来訪者	・四季を通じて、集客魅力を図る。	・宮タワーは夜間も開場し、バスとのセット券を発行する。おしゃれなレストランやフラワーガーデンなどを整備する。また、季節ごとのイベントを開催する。	市、運営事業者
NPO等による管理運営の実施	NPO、民間企業	・市からNPOや民間企業の運営に移行し、魅力アップを図る。	・公園を有料化し、指定管理者制度を活用し、NPOや民間企業での管理運営とする。	市

施策②：「都心賑わい空間としての釜川の活用」
釜川ウォーターフロントを都心の賑わいと憩いの空間として有効活用する。

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
釜川に沿って快適に歩ける環境の形成	市民、来訪者	・釜川ウォーターフロントを市民が憩い楽しむ空間として活用する。	・居住者、搬送者以外の車を乗り入れ禁止とし、ベビーカーや女性が歩きやすいみちとし、ベンチなどを整備する。また、釜川から田川まで歩けるよう工夫する。	市
フリーマーケット、屋台などのイベントの実施	市民、来訪者	・釜川を市民や観光客が集う空間とする。	・フリーマーケットや朝市、屋台などのイベントを実施する。	NPO等 ³

重点課題3. 個性と魅力が十分に発揮できていないまち

重点目標：「地域のみどりや資源を活かしたまちづくりの推進」
地域のみどりや資源を活かし、魅力あふれる宇都宮市を形成する

施策③：「蔵のあるまちづくりの推進」
宇都宮市全域で蔵のあるまちづくりを推進する

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
大谷石造り建造物取り壊し事前申請制度の導入	市民	・宇都宮市の個性である大谷石造りの蔵等のむやみな破壊を抑制する。	・条例を設け、市内全域を対象とし。アドバイザー委員会を設置し、取り壊しの場合の事前申請制度を設け、委員会で活用、保存の方策等のアドバイスをを行う。取り壊さざるを得ない場合、大谷石材バンクを活用するよう促す。	市
清住通り 蔵しっくストリート事業	市民	・蔵のまちなみが比較的残っている清住通りについて、蔵の保存に努め、観光客も散策できるようなみちとする。	・地域NPOを主体にして、蔵の分布調査、パンフレットの作成、建造物のリニューアル、、イベントの実施、ショップの運営などを行い、観光客の誘致を図る。	NPO、大学、建築家等
蔵資材大谷石バンク事業	市民、事業者	・市内全域を対象に、やむを得ず取り壊さざるを得ない大谷石については、一時集積を行い、内装や再生で必要とする人々に安価に頒布する。	・NPOを立ち上げ、市の支援を受けながら、立ち上げ、市内及び全国にプロモーションを図る。	NPO等

重点課題3. 個性と魅力が十分に発揮できていないまち

重点目標：「地域のみどりや資源を活かしたまちづくりの推進」
地域のみどりや資源を活かし、魅力あふれる宇都宮市を形成する

施策④：「観光地大谷の魅力アップ」
大谷及びその周辺を全国から集客できるような観光地として育てる

事業名	対象	目的	事業概要	事業主体
大谷みちの駅の整備と観光拠点化	市民、来訪者	・大谷に車が入り込むことを避け、みちの駅を整備し、地域観光、地域産業の拠点とする。	・大谷石細工、農産物など地域の物産を集めた魅力ある道の駅とするとともに、そこから徒歩、自転車やバスなどで周遊や散策を促す交通拠点とする。	地域住民団体等
大谷研究所の整備	市民、来訪者	・大谷石の研究、大谷石採掘場の活用などを研究する拠点を整備する。	・大谷みちの駅と併設させ、大谷石切削の歴史の展示、加工体験、調査研究を行う。	大谷石組合、大学等
大谷スマートインターチェンジの設置	市民、来訪者	・大谷パーキングエリアにETC限定の出入口を設置し、大谷地域への観光客の利便性を向上させる。	・現在全国で社会実験が行われており、国土交通省に提案する。	市、県